

## 平成 27 年度第 3 回小田原市環境審議会概要

1 日時 平成 27 年 12 月 25 日（金） 10：00～11：20

2 場所 小田原市役所 全員協議会室

3 出席委員（10 名）

田中委員（会長）・椎野委員（副会長）・奥委員・増原委員・橋本委員

小川委員・深澤委員・外崎委員・高橋委員・関委員

4 欠席委員（1 名）

杉山委員

5 事務局職員（17 名）

環境部長、環境部副部長

環境政策課長、環境政策課副課長、広域環境担当課長、広域環境担当副課長、エネルギー政策推進課長、エネルギー政策推進課副課長、環境保護課長、環境事業センター所長、環境政策係長、ごみ減量推進係長、エネルギー政策推進係長、ごみ減量推進係主査、エネルギー政策推進課主任、環境政策係主事 2 名

6 傍聴者 なし

7 審議会の概要

（1）報告事項 小田原市エネルギー計画について

エネルギー政策推進課長が（資料 1）に基づき説明を行った。質疑等の概要は次のとおり。

委員	今後目標達成に向けて、取組状況の進行管理は行っていくのか。
事務局	毎年管理または、次年度に向けて検討する体制づくりを行う。
委員	取組状況の公表とあるが、（計画の初年度である）今年度の分は公表しないのか。
事務局	公表する。
委員	太陽光発電や小水力発電を行うためには木を伐採する必要がある、環境破壊とこれから進めていく事業とのすり合わせについてどう考えているのか。
事務局	P 8《4つの視点》にもあるように、エネルギー計画の根底に自然環境や生活環境の保全があることをご理解いただきたい。
委員	大分県由布市は再生可能エネルギーと自然環境の調和を図るための条例をつくり、発電設備設置に対する規制を行っている。小田原市でも今後の動向を踏まえて条例を一部改正するなど検討したらどうか。
委員	『未来へつなげる担い手の育成』とあるが、子供たちへの環境教育の内容が政策に含まれていない。
事務局	小学校区に 1 つを目標として、再エネ・省エネの優良な取組に対して登録証を交付し、普及啓発を行っていく。また、環境エネルギーツーリズムにおいても、周辺施設などと連携して、体験型環境エネルギー教育の拠点とすることで、子どもたちへの教育に寄与すると考えている。
委員	環境エネルギーツーリズム・木質バイオマスについても環境部の推進事項ということでもいいか。
事務局	環境エネルギーツーリズムについては基本的に環境分野が中心。木質バイオマスについては、エネルギーと林業の再生などの観点から他部署とも連携を図っていきたい。

(2) 報告事項 小田原市斎場の整備について

環境政策課広域環境担当課長が(資料2)に基づき説明を行った。質疑等の概要は次のとおり。

委員	業者資格審査を通過した事業者数は。
事務局	事業者数等の公表はしていないが、複数の事業者から提案があった。
委員	審査員の属性はどのようになっているのか。また、現在ある斎場を稼働しながら新斎場を建てるということだが、施設の敷地面積に問題はないのか。また、平成28年～31年は建設と解体が同時に行なわれるように見えるが、いかがか。
事務局	審査員については、学識経験者3名と行政2名。敷地面積の課題は、民間事業者の技術的なノウハウを活用して対応し、仮設駐車場の設置も考えている。解体については、火葬業務を行いつつ、別棟の待合室や変電室などから徐々に着工することが考えられる。今後、事業者からの提案により、スケジュールが決まることになる。
委員	斎場近くの交差点付近などが整備されてきているが、この計画と関係があるのか。
事務局	関係ない。
委員	現在ある火葬炉6基全てを稼働させながら、新斎場を建てるのか。
事務局	現火葬炉6基を稼働させつつ、新たに9基を造る。

(3) 報告事項 野良猫の去勢・不妊手術費の補助事業について

環境保護課長が(資料3)に基づき説明を行った。質疑等の概要は次のとおり。

委員	通常高額な手術費用がかかってしまうので、例えば証明さえできれば動物病院でも助成ができるという特例はないのか。
事務局	市から助成依頼は行なっていない。
委員	猫を捕まえるのはなかなか難しいので、市(環境部職員)で見つけて手術をしたらどうか。また、手術した猫をすぐに離すと、同じ猫が再度つかまってしまう。
事務局	捕獲手段については、来年度協調する事業として考えており、団体補助なども進めている。また、同じ猫の再捕獲については、耳をカットして放す方法(さくら耳)という方法もあるので今後検討したい。
委員	野良猫だけでなく、野良犬についてはどう対応しているのか。
事務局	犬が放たれているということであれば、専門の者が捕獲するため、野良犬はいない。
委員	助成チラシは回覧などをして、周知する必要があるのでは。
事務局	事業開始時に市HPや広報、また動物病院へも周知を行った。

(4) 報告事項 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトについて

環境政策課副課長が(資料4)に基づき説明を行った。概要は次のとおり。

委員	森里川海への活動が、ふるさと納税制度と連携できれば、国民の意識も高まり、もう少しアクティブな取組みになると思う。検討いただくよう、提案する。
委員	小田原市がミニフォーラムの会場地に選定された理由は何があるのか。
事務局	第一に、「森里川海」の取組みが市民を中心に活発に行われていたことがある。現在環境省から小田原市に職員が派遣されていることも、選定の理由の一つと考えている。

## 8 その他

委員	カラスの駆除については、なにか良い対策はあるか。
事務局	一番はごみの出し方の周知と考えるが、対策としては難しいのが現状である。
事務局	正しいごみ出し方法を周知徹底し、市民・商店街など地域で協力をしていくことが大切。

次回審議会の日程は、平成28年度に行うこととする。

以上